令和6年度介護保険制度の改正について

1 報酬改定

- (1) 令和6年度より介護報酬は、全体で1.59%（うち0.98%は、介護職員の処遇改善分）の増額改定となった。
- (2) 医療系サービス（居宅療養管理指導、訪問看護、訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション）及び介護職員の処遇改善分については令和6年6月から、その他のサービスについては令和6年4月から施行された。
- (3) 江東区介護予防・日常生活支援総合事業サービスA（介護予防型訪問・通所）についても、介護報酬改定を踏まえた事業費単価の改定及び加算区分の見直しを実施した。

（今回の改定における基本的な視点）

- ① 地域包括ケアシステムの深化・推進
- ② 自立支援・重度化防止に向けた対応
- ③ 良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくり
- ④ 制度の安定性・持続可能性の確保

2 制度改正

近年の光熱水費の高騰、在宅で介護を受けている方との負担の公平・均衡性の観点から、以下のとおり施設利用時の利用者負担の見直しを行う。

- (1) 基準費用額（居住費）の見直し（令和6年8月から）
 - ① 基準費用額（国が定める介護保険施設の食費・居住費の標準的な費用）のうち、居住費について1日あたり60円引き上げる。
 - ② ①に伴い、補足給付（負担限度額認定制度）における居住費の負担限度額についても1日あたり60円引き上げる。ただし、従来から負担限度額0円である利用者負担段階第1段階の多床室利用者の限度額は据置きとする。
- (2) 多床室の室料負担（令和7年8月から）
 - ① 介護老人保健施設と介護医療院の多床室について、新たに室料の自己負担（月額8千円相当）を求める。（居住費の基準費用額は1日あたり260円引上げ）

- ② 補足給付（負担限度額認定制度）における負担限度額の変更はないため、制度対象者の利用者負担が増えることはない。

令和6年8月からの負担限度額及び基準費用額（1日あたり）

利用者負担段階	居住費（滞在費）				食費	
	ユニット型個室	ユニット型個室的多床室	従来型個室	多床室	施設サービス	短期入所サービス
第1段階	880円	550円	550円 (380円)	0円	300円	300円
第2段階	880円	550円	550円 (480円)	430円	390円	600円
第3段階①	1,370円	1,370円	1,370円 (880円)	430円	650円	1,000円
第3段階②	1,370円	1,370円	1,370円 (880円)	430円	1,360円	1,300円
基準費用額	2,066円	1,728円	1,728円 (1,231円)	437円※ (915円)	1,445円	1,445円

・（ ）内は特別養護老人ホームに入所または短期入所生活介護を利用した場合の額。それ以外は、介護老人保健施設・介護医療院に入所または短期入所療養介護を利用した場合の額

・施設の設定した居住費（滞在費）が負担限度額を下回る場合は、施設が設定した金額が基準となる。

※については、令和7年8月から「697円」に変更となる。